



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は1月27日(水) 第2226回 例会 ■

卓話 地区出向者担当
 松原地区国際奉仕委員長卓話
 「検証ツアー報告」

※RCレート 10月1日より 1\$ 120円

■ 次週の予定 ■

2月3日(水) 四大祝福、ゲスト卓話 幹事担当
 北洋銀行砂川支店支店長 満山 俊 様
 2月10日(水) 近藤会長担当

第2225回 例会記録 2016年(平成28年)1月20日(水) 曇り「奉仕の理想」「四つのテスト」斉唱

・ゲスト紹介

砂川郵便局 局長 澤田 元様
 (株)かんぼ生命保険 札幌支店 法人営業部 鈴木 英俊様
 (株)かんぼ生命保険 本社営業指導育成部
 北海道エリア本部総合企画部兼務法人営業インストラクター
 高橋 竜也様

・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません。

会長報告

会長 近藤 俊継

1. ガバナー事務所より「2015-2016年度地区役員名簿」が届いております。
2. 砂川観光協会より「砂川観光協会役員推薦のお願い」が届いております。
3. 砂川地区広域消防組合より「平成28年度砂川消防出初式に際しましてのお礼状」が届いております。

幹事報告

副幹事 大橋 俊彦

本日はございません。

委員会報告

R財団、米山委員会 委員長 北谷 好文
 本日、岩瀬健悦会員より
 R財団へ 100ドル、米山委員会へ1万円ご寄贈いただきました。大変有難うございました。

例会

ゲスト卓話

職業奉仕委員会担当

ゲスト

砂川郵便局 局長 澤田 元様
 (株)かんぼ生命保険 札幌支店 法人営業部 鈴木 英俊様
 (株)かんぼ生命保険 本社営業指導育成部
 北海道エリア本部総合企画部兼務法人営業インストラクター
 高橋 竜也様

砂川郵便局 局長 澤田 元様

- 資料1ページ(北海道郵政の特徴)の2番をご覧ください。
- 2 北海道内には、直営の郵便局が1,209局、簡易郵便局が295局あります。
- 3 郵政グループ他社の拠点としては、ゆうちょ銀行が札幌支店を始めとした5店舗、かんぼ生命保険は札幌支店を始めとした4店舗、持株会社である日本郵政は札幌通信病院とかんぼの宿(小樽)があります。
 広大な北海道において、郵便局を始めとしたネットワークを維持しています。
- 資料2ページ(市町村の郵便局数)
- ・北海道全体では、直営郵便局が1,209局あります。
 砂川市は3局あり、砂川局、砂川南局、豊沼局があります。
- ・郵便局は移転もおこなっており、特徴的なところとしては、根室市の瑠璃瑠(ごようまい)局は、2013年11月に台風の影響で、局舎の壁が崩壊したため一時閉鎖していましたが、2015年3

月30日に近隣に移転し、営業を再開しました。

- ・夕張市の沼ノ沢局は、2015年6月22日に、民営化以降全国で初めて旧小学校校舎に移転しました。新店舗には、地域の展示等ができるコミュニティスペースを設けています。
- ・また、土地開発等により人口が増加している地域への郵便局設置を目的として、函館市内で、お客さまのご利用が減少していた函館高砂局を長距離移転し2015年4月1日に函館石川局を新たに設置しました。

■資料3ページ(簡易局)

- ・道内には、120の市町村に295の簡易郵便局がありますが、このうち11局が一時閉鎖中となっております。
 なお、一時閉鎖局数については、民営化時の2007年10月時点の31局から年々減少傾向にあります。
- ・ちなみに砂川市には簡易局は3局あります。(砂川北光、空知太、南吉野)

■資料4ページ(ワンストップサービス導入市町村一覧)

- ・ワンストップサービスとは、地方公共団体が提供するサービスの一部を郵便局の窓口で実施するもので、北海道内では39市町村、392局で実施しています。

現在、北海道内で実施しているサービスは、

- ①各種証明書の交付
- ②敬老優待乗車証の交付
- ③公共交通機関等の乗車券の販売
- ④乳幼児がいる世帯への家庭用ごみ袋の無料交付
- ⑤ごみ袋・ごみ処理券等の販売
- ⑥商品券の販売
- ⑦使用済み商品券換金取次事務

があり、各サービスごとの導入市町村数および取扱郵便局数は資料左上の表をご覧ください。

「商品券の販売」及び「使用済み商品券換金取次事務」は、国の地方創生施策の一環として自治体等がプレミアム付商品券を発行することとなり、その販売事務及び各店舗で使用された商品券を換金するための取次事務を郵便局で受託しております。

- ・資料右上の表をご覧ください。
 北海道におけるワンストップサービス導入市町村の割合は20%を超え、全国平均の14%を上回っており北海道においては地域に果たず郵便局の役割がより強く求められていると言えます。

- 資料5~8は、今申し上げた地方公共団体の取扱状況の詳細です。
- ・5ページは住民票等の各種証明書交付事務を17市町村33局で実施しています。

右側は郵便局の窓口に「行政コーナー」を設置して、町職員が駐在し、地域住民の様々な相談に応じています

- ・6ページは、「敬老優待乗車証の交付」や「乗車券の販売」の状況です。
- ・7ページは「ごみ袋の無料交付」や「ごみ袋の販売」の状況です。
- ・8ページは「プレミアム商品券の販売」や「使用済みプレミアム商品券の換金取次」の状況です。

■資料9ページ(地方公共団体との連携)

- ・災害対応では、「防災協定」を締結し、災害等が発生した際に、地方公共団体と郵便局が相互に協力することとしています。
- ・地域の見守り支援では、高齢者および障がい者等の異変に気付いた際に必要な通報を行う、こどもを対象とした犯罪等を未然に防止するために必要な通報やこどもの保護を行うなど、郵便

局が地域の見守り支援を行っています。

- ・その他として、日々、地域を回る郵便局社員の特長を活かし、道路の損傷や廃棄物の不法投棄などを発見した場合、速やかに関係機関に情報提供する等の支援も実施しています。
- ・砂川郵便局では、これら全ての連携を締結しております。

■資料10ページ（郵便局のみまもりサービス）

- ・2013年10月から試行を開始した「郵便局のみまもりサービス」は、北海道では登別市と白老町で試行を実施している有料サービスです。
- ・全国的には2015年7月1日から、これまで一部地域のみだった山梨県、長崎県を県内全域に拡大したほか、他のエリアも含めて、買い物支援サービスや駆け付けサービスなどのオプションサービスも順次提供予定です。
- ・北海道登別市と白老町においては、6月末現在で13名の方にご利用いただいております。
- ・これからも、ご利用いただいているお客さまの声やニーズにしっかりと耳を傾け、必要とされるサービスを実施してまいります。

■資料11ページ（手紙文化の振興に向けた取組）

1「ふみの日」イベントの開催結果

「毎月23日はふみの日」を認知してもらうとともに、手紙を楽しくながら気軽に差し出せる参加体験型のイベントを2014年から全国のイオンモールで行っています。

イベントでは、実際のはがきを使用し、「クラフトデコレーションはがき」や「ぬりえ」などのワークショップや郵便車両やぼすくまの記念撮影会を実施しました。

2「カルチャーナイト2015」手紙作成体験教室の実施

「手紙を書く楽しさ」や「手紙をもらう喜び」を実感していただくことを目的として、札幌市の地域文化活動である「カルチャーナイト」に参加し、札幌市内の小学生とその保護者を対象に手紙作成体験ワークショップを実施しています。

3「サンタクロース」施策の後援

日本郵便では、広尾町北方圏交流振興会が企画する「ひろおサンタメール」と日本フィンランドサンタクロース協会が企画する「サンタさんからの手紙」を後援し、全国の郵便局窓口申込チラシを配備します。

4「手紙の書き方体験授業」の取組支援

- ・北海道内すべての小・中・高等学校(約2,000校)並びに教育委員会に対して、体験授業のご案内DMを送付するとともに、郵便局社員が電話・訪問等で体験授業実施の働きかけを行っています。

■資料12から13ページ（特殊ポストの設置）

- ・地域のPRや活性化を目的とした自治体と連携施策の一つとして、ご当地ポストの設置を行っております。
- ・ご当地ポストとは、地域観光地PRや地域行事の開催記念などの目的で、地方自治体等から要望をお受けした際に設置の可否を検討し、郵便ポストに装飾を施しているものです。
- ・昨年度は、道内で7か所のご当地ポストを設置し、テレビで報道されるなど注目を集めたほか、観光PRのお手伝いをさせていただいております。
- ・みなさまもお近くにお立ち寄りの際は、是非、ご当地ポストにもご注目いただければと思います。

■資料14から15ページ

- ・北海道各地の名勝地や地方色豊かな風物、催事等を題材に取り上げ、今年度は、26種類の北海道オリジナルの物販フレーム切手を販売しています。
- ・主な物販フレーム切手の図柄は、次のページをご覧ください。
- ・ご覧いただいている物販フレーム切手は、今年度の4月～8にかけて北海道の各地域において企画・発行したものです。

■資料16～17ページ（道内スポーツチームとの連携）

- ・北海道日本ハムファイターズの応援施策
日本ハムファイターズの期間限定イベント「WE LOVE HOKKAIDOシリーズ」に合わせ、北海道日本ハムファイターズを応援する会の会員となっている弊社は、当該イベントを更に盛り上げるため、札幌市内27局、栗山町内3局の窓口社員が期間限定でレプリカユニフォームを着用する応援施策を実施したほか、ゆうパック等の利用者に対し、サイン入りレプリカユニフォームや観戦チケット等のプレゼントキャンペーンを展開しました。また、シーズン終了後、大谷のフレーム切手を作成、販売いたしました。
- ・北海道マラソンへの協賛したりとか、最後のページになります。レバンガ北海道の応援施策では、オフィシャルスポンサー

契約は昨年8月から締結しており、郵便局における各種イベントへ選手やマスコットキャラクター「レバード」等の派遣を行っていただいております。

また、「レバード」のユニフォーム正面には郵便局ロゴを表示し、試合やイベントにおいて、郵便局の広告塔として活躍いただいております。

- ・コンサドーレ札幌の応援施策としては、「コンサドーレ札幌」様とのコラボ企画として、今年6月から①応援ポスターの郵便局掲出、②ポストカードの道内の小学校等の全児童への配布、③オリジナルポスター・サイン入りレプリカユニフォーム・観戦チケット等のプレゼントキャンペーン、④ホームゲーム会場内への弊社看板の掲出など、各種応援施策を展開しました。

私からは以上ですが、最後になりますが、郵便局には大きな課題と素晴らしいチャンスが目の前にあります。皆さんや地域の協力を得て、しっかりとサポートしあい、これからの課題に向き合い、今年を最高の1年にしたいと思っています。

「お聞きいただき、ありがとうございました」
「どうぞ、これからもよろしく願っています」
次は、かんぼ生命の高橋竜也に話してもらいます。

かんぼ生命 高橋 竜也様

福利厚生プランを使用しての商品概要の説明

郵政グループで福利厚生プランの積み立てをしませんか？
積み立てていただいた金額の半分を経費(損金)処理することができます。

途中で引き出したお金(解約金)につきましては

- ・退職金
- ・労務
- ・設備投資
- ・消費税対策
- ・社員旅行
- ・事業承継

など、あらゆるニーズにお応えすることができます。

もし、この中で一つでも気になるワードがございましたらぜひスタッフが伺いしてご説明させていただきますのでよろしくお願ひします。

また、上場を機に今まで以上に地域の企業の皆様と密接にお付き合いしていきたいと考えております。

今回ご参加の企業様で新たに商品の販路を拡大したい、新しいビジネスを展開したいなどあらゆるご要望に全国ネットワークでお応えできますよう、かんぼ生命といたしましても取り組んでいく所存でございますのでよろしくお願い致します。

出席報告

委員長 中村 和弘

第2225回例会

※在籍数 39名 ※出席規定免除0名

※本日出席基数 39名 ※本日欠席者数5名

※本日出席率 86.18%

※本日欠席者 伊藤徳博会員、造田孝志会員
堀江和美会員、山下真史会員、山田 大会員

※メイクアップ 本日はいらっしゃいませんので
前々回の出席率 92.31%に変更はありません。

ニコニコボックス

※夫人誕生を頂いて。

近藤俊継会長

※担当例会を終えて。

山崎義彦会員

本日のニコニコBOX 4,000円 累計額 1,078,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：

本日 10,000円 累計 417,000円

※ロータリー財団：

本日 100\$ 累計 3,650\$

本号担当：瓜 俊雄 次号担当：瓜 俊雄

事務局：砂川パークホテル内 (TEL0125-52-3989)

会長 近藤俊継 幹事 造田孝志

欠席届は前日昼迄に岩淵健悦SAAまで (TEL62-2535・FAX62-2954)